

Monodrama Ground Zero

The first public performance

○音楽と、話を一緒に聞くという、なかなかできない貴重な経験ができて、とてもよかったです。チェロの演奏も、歌もとてもすてきでした。9.11 が起きたときは私はまだ小さくて、全然覚えてませんが、このように話をきく機会ができて、もっとくわしく知りたいなと思いました。ただすごく大きな事件だったという印象があるだけが、なんで起こったのとか、その後どうなったのかとか知らないのが気になりました。

○初めて生でチェロの演奏を聞かせてもらうことができるとても貴重な体験になりました。また、セリフも迫力があってとても楽しかったです。元々私は吹奏楽部なので久々に楽器の演奏を聞くことができたので嬉しかったです。

○セリフとチェロの曲の雰囲気がとても合っていて 2001 年のアメリカでのテロの時の人々の心情が伝わってきました。

チェロの演奏は何度か聴いた事がありますがこんな近くで聴けたのは初めてで、オーケストラでの演奏ではなく語りと合わせての演奏だったのでとても貴重な経験ができました。

○今回はとても貴重な経験ができてすごくうれしく思いました。チェロの音楽と語りがすごくマッチしていて、すぐにお話の世界に入り込むことができ、とても感動しました。9.11 の当時のことは、ほとんど何も知らない世代なので、このような機会にお話を聞くことができ、当時の悲惨だった状況やその時の人々の感情が伝わってきて、知ることができて良かったなと思いました。このようなお話は、忘れてはいけないものだと思うし、今後も語り継いでいくべきものなんだろうなと思いました。

○正直私のリスニング能力では、ほとんどハンナ・グレースさんのスピーチは理解することができませんでした。しかし、ハンナ・グレースさんの強い気持ち、悲しい気持ち、嬉しい気持ちが「コトバ」によって私に伝えてくれたので少しだけわかりました。それにチェロの演奏も場面場面で全く違う音だったので臨場感あふれる素晴らしいものでした。

私は中学生になるまで9.11のことを知りませんでした。もっとよく知るようになったのは中学2年生の時、新しい英語の先生が来てからでした。その先生は、9.11の時にNew Yorkにいたそうです。元々ビジネスマンだった先生は、その出来事の後に教員になることを決めたいらしいです。あの出来事で、沢山の人が亡くなったと同時に沢山の人の心を動かしたかもしれないね。

○アメリカ同時多発テロがどれほど悲惨だったか、そしてそんな状況の中で希望を捨てず人々の命を救った消防士のブレンダさんや悲しみを乗り越えて前に進むことを決めたアメリカの人々の

様子がとても鮮明にイメージすることができるようなハンナさんの演技が素晴らしかった。要所に差し込まれるチェロの演奏も場面をより臨場感のあふれるものにしていて、物語を聞き入ってしまいました。9.11 発生当時の出来事を自分はよく知らなかったので、実際起きたテロの恐ろしさを知ることができました。

○今日の授業はとても素晴らしいものでした。チェロの音をあんなに間近で聴いたことがなかったので終わった後でもずっと聴いていたいと思うほどでした。また、ナレーションの方の声が心地よいだけでなく、場面によって強弱をつけていたため、9.11 の場面ではとても緊迫した雰囲気でも聞くことができ、同時に物語にすんなりと入っていくことができました。最後に歌ってくれた“アメイジング・グレース”は私の大好きな曲なので非常に感動しました。この物語を聞いて9.11 の状況や当時の凄まじさや悲惨さを知り、暗いことがあってもめげずに強い気持ちで生きていこうというのを感じ取ることもでき、とても有意義な時間を過ごせたと思います。

○初めてチェロの音をちゃんと聴いたのでこんな近くで見れて迫力がすごかったです。終わった後、言葉がでないくらい感動しました。音楽をかなでながらの語りでその場のセリフがよりイメージしやすくエモーショナルな気持ちになりました。英語もゆっくりで内容がわかったので聞いていてそのシーンが浮かんできました。リスニングの練習にもなり、自分でリーディングをする時と聞く時とまた違っていいなと思いました。自分が英語を話す時によく間のおきかたやどこで切れるのかとまどうことがあるのでこのような語りをきいて耳で学ぶこともできるなと思いました。何より歌声がとてもきれいでした。

○チェロと台詞のコンビネーションがすごかったです。ハンナさんが歌ったときは、それまでの内容が吹っ飛んでしまうくらいの美声で鳥肌が立ちました。アメイジンググレイスは普段からどこかしらで耳にしていたので、すごくよかったです。9.11 がわからなくても、そのすさまじさがよくわかると思います。音楽を弾くのは嫌だけど、聞くのはすごく好きなので、また機会があればやってほしいです。ストーリーの中の女性は、女性初の消防士（注：FDNYで初）ですごい人なのになぜあまり有名になっていないのか気になりました。

○すごく発音がきれいで英語がききとりやすかったです。最後の歌がすごく印象に残りました。歌声がきれいでした。チェロも低音の音がきれいで曲もイメージがしやすかったです。9.11 のことを詳しくきけたのは初めてなので深く知れてよかったですと思いました。

○9.11 事件に関する朗読とチェロが奏でる音楽がうまくマッチしていて、当時の消防隊の心境や置かれた状況等が写真や映像がなくても伝わってきた。何の罪もない多くの尊い命が失われた事に対する悲しみや憎しみには暗い音調、それまではビルの影に隠れていた太陽を見て市民全員で這い上がっていかうというポジティブな表現には明るめな音調の音楽が演奏され、とても表現が上手だなあと思った。朗読に関しても、ネイティブの英語でもなまりが無く、場面に合わせて高低を変えたりするなどの工夫がなされていて聞きやすかった。

○演奏にナレーション、全てのパフォーマンスがマッチしていて途中涙が出そうになり、鳥肌をとまらなかった。チェロの演奏は小さい頃オーケストラの演奏を観に行ったこととコンクールを

観に行ったこと、そしてチェロの演奏者の映画を観たことがある程度で、こんなに間近で聴いたことは初めてだったので低音が心臓に響いてくるのが分かりとても感動した。長年やっていたピアノをやめてから楽器というものから遠ざかっていたが改めてそのすばらしさに気づくことが出来た。ナレーションに合わせ、緊迫した雰囲気や平和を願う思いなどがチェロの演奏が入ることにより一層増していたと思う。

ハンナさんのナレーションでの気持ちを込めた読み方はその当時の表現をより分かりやすく私達に伝えてくれた。9.11 というあの悲惨な事件により心を痛め今もなお苦しんでいる人、立ち直った人も、これからもっと明るい未来が待っていることを願いたい。

○初めて音楽があるお話をきいて、日本語じゃなかったから、あまりわからないかなと思ったけれど、話し方や音楽、ジェスチャーなどで、話の雰囲気などわかり楽しめました。感情が入り、涙ぐんでいたのも特徴的で私も楽しめました。これからも、このような機会があればうれしいです。チェロもあまり聴く機会がなく、あまりほかの弦楽器と区別がつかないくらい知識がないのですが、これを機会に聴いてみたいと思います。

○今日の演奏と9.11の語りを聞き、改めて出来事の恐ろしさと当時の情景が思い浮かびました。9.11が起きた時のことはあまり記憶にないけれど、その出来事を何年経っても忘れないようにと時々テレビ番組でも特集されていて、それを何度か見たことはありますがその度に再現映像が物語る恐ろしさを感じていました。今回のハンナさんのナレーターは映像がなくても鳥肌が立つほど聞いていてドキドキしました。またそのナレーションに合わせるチェロの演奏もとても合っていてナレーションをより引き立たせていたように思いました。9.11の出来事はとても興味深かったのでブレンダさんのストーリーをハンナさんのナレーターとチェロで聞くことができ嬉しかったです。

○チェロの演奏とナレーションのコラボレーションを見るのは初めてで、英語を聞き取るのは難しかったのですが、チェロの音楽で物語の背景を想像することができ、互いに支え合っていてとても良いパフォーマンスを見ることができたと思っています。ハンナさんの心がこもった力強い語りを見て、話しているだけでこんなにも表現することができるのかと思い、その存在感に圧倒されたというか、魅了され、引き込まれました。英語を話している姿がとてもカッコよく見えたので、改めて英語をスラスラ話せるようになりたいと思いました。

○ **First as all, I was impressed by the performance. Hannah's beautiful voice and Cello's sound were mixed perfectly. It was touching because Hannah expressed rich emotion by reading her script.**

チェロとセリフが完全にマッチしていて、チェロの音も話の感情をそのままに表していて、とても感情移入し易かった。加えて、セリフ中でのチェロの音はセリフを追いながら、こちらへ入ろうか、このセリフのところで入ろうかと決めているということで、そのコンビネーションから生み出されているすばらしいパフォーマンスであると感じた。

“Amazing Grace”を生で聴けるということは思っていなかったので、感動しました。少し感情的になり、泣きそうになりそうになってしまい、話のストーリーとチェロと歌声で感情が高ぶるほど、すばらしかったです。

○ 9.11 は結構人事のように考えていて、深い感情をいだいたりしたことはあまりなかった。日本の3.11と同じように、誰もが絶望するような出来事だったことがよくわかった。またニューヨークの^{ヒト}人が変わったと聞き、人間は何か危機に直面するとやさしくなれるものなんだと思った。

ハンナさんの身ぶりや声の抑揚で、どんなシーンで、どんな感情なのか、わかりやすかった。最後に歌声を聴いたときはちょっと鳥肌がたつくらいすてきだった。

初めてチェロだけの演奏をきいた。低い音から高い音まですてきな音色だった。また、話の内容によってBGMが異なり、よりお話に臨場感がわいた。

○今日はチェリストの方とハンナさんに来ていただき、アメリカ同時多発テロのブレンダさんという消防士の方の話とチェロでパフォーマンスをしていただきました。私は当時4歳だったし、あまり記憶にありませんが、すごく悲しい事件だったんだなと改めて思いました。語りとチェロの音楽がすごくマッチしていて最後の Amazing Grace もとても感動しました。音楽にゆかりなく育ってきたので、このようなパフォーマンスは貴重な体験になりました。

○今回の講演を聞いて、9.11 について初めてどんな状況だったのか、どんな働きがあったのか知りませんでした。当時まだ4才だったので、記憶もなく私達に伝えてくれる人もいませんでしたので、月日はたっていますが、9.11 について知ることができて、考えることができてよかったです。チェロの演奏を初めて聴いたのですが、低音で語り手の方とのセッションがすごく印象的でした。自分はチューバを小学生の頃にやっていたので、低音の楽器がすごく好きです。機会があればもっと聴いてみたいと思いました。ハンナさんの語りもすごく感情表現豊かで、見入ってしまいました。貴重な時間ありがとうございました。

○ハンナさんの声がとても美しく、ナレーションも良かったが、特に歌声はさらに素晴らしかった。チェロとの演奏がとてもマッチしていた。音楽が暗いものだったり明るいものだったり、その状況によって使い分けられていて、実際の情景がより良く感じる事ができた。こんなに近くでチェロの生演奏を聞くことができて、ハンナさんのナレーション、歌声を聞いたのは、とてもいい経験だと感じた。

○ -Ground Zero-

私は、舞台演劇やオーケストラの音楽が好きで舞台はたまに1人で観に行ったり、生オケでバレエを踊ったこともあるので今回のようなのはとても親近感が湧きました。でも、音楽と語りと一緒にいるのは初めてで、近距離でもあったので、すごく感動しました。

9.11 のリアルな状況が、ただ自分で読むだけでは伝わってこない感情的な面まで、ハンナさんの語りや表情からとても伝わってきて、聞きいってしまったし、その時の情景が浮かんできました。そこに音楽が加わることで更にブレンダさんの心境が伝わってきて素晴らしかったです。

とても貴重な機会をありがとうございました。

